

第28回

マルエス旗

第23回

熊取町長杯

争奪(5年生)

少年軟式野球大会

開催 令和8年3月1日(日)より

主催 貝塚熊取少年軟式野球協会

後援 熊取町

マルエス株式会社

整骨院 勇 
SEIKOTSUIN ISAMI

試合結果は当協会ホームページに掲載しています。

貝塚・熊取少年軟式野球協会



 Instagram



@KAIZUKAKUMATORI

一 大会役員 一

大会名誉顧問	藤原敏司(熊取町長)		
大会名誉顧問	貝塚市長		
大会名誉顧問	食野雅由(貝塚市議会議員)		
大会会長	日裏芳雄		
大会委員長	殿山隆栄		
大会副委員長	田村修治	西岡真司	永木 誠
	新田大作		
大会財務部長	吉田秀隆		
大会審判部長	武藤英司		
大会審判副部長	内野浩利	島袋進喜	
大会審判員	井芹欣次	西岡真司	川口雅史
	上野明良	矢野佑紀	北本裕之
	安枝俊明	松岡靖博	
大会委員	北本雅朗	矢野裕之	福田芳則
	坂本 壘	坂口彰伺	関口勝美
	鈴木祐介	金澤由典	前田拓哉
大会事務局長	上野明良		
大会事務局次長	前田拓哉		
ブロック担当			

全ブロック 上野明良 携帯電話 090-2282-8008

《表彰規定》

[チーム]

優勝：優勝杯・マルエス旗・熊取町長杯(以上持回り)

賞状・読売新聞社楯・優勝メダル・接骨院勇盾

準優勝：準優勝楯・マルエス楯(以上持回り)・

賞状・読売新聞社楯・準優勝メダル・接骨院勇盾

第三位：賞状・第三位楯(1チーム)

[個人]

最優秀選手賞 優秀選手賞 (贈 読売新聞社)

《 大会 規 定 》

1. 本大会は 2026年度 公認野球規則及び競技者必携を準用し、特別グラウンドルールを採用する。
2. 試合はトーナメント方式で行い、6回戦とし、80分を過ぎて新しいイニングに入らない。(時間制を採用する) 試合が決められた回数・時間で同点の場合は、最終メンバー9名の、○×式抽選により勝敗を決する
3. 得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、4回以降7点差を採用する。また降雨及び日没等による場合は、4回終了を以ってコールドゲームとし、同点の場合は、○×式抽選により勝敗を決する。
4. 決勝戦は、90分を過ぎて新しいイニングに入らない。(時間制を採用する) 試合が決められた回数・時間で同点の場合は、特別延長戦(タイブレイク方式)行うが、最長2回を限度とし、勝敗が決しない場合は、○×式抽選とする。また得点差(5回以降7点差)と、降雨及び日没等によるコールドゲームを採用する。(継続打順 無死一、二塁)
5. 試合開始30分前に集合し、メンバー表4部を試合開始30分前までに提出する。(時間厳守)
6. 選手登録は当日のメンバー表(10名以上15名以内)にて適用する。
主将は背番号10番とする。** 6年生女子の選手登録は出来ません **
7. ベンチは抽選番号の小さいチームが1塁側、大きいチームが3塁側とする。
8. ベンチに入れる者はユニホーム着用の監督(背番号30番)とコーチ2名(背番号29番・28番)、スポーティーな服装(ユニホーム不可・チーム帽子着用)のチーム責任者とスコアラー、投球数確認者の合計6名以内と登録された選手とする。グラウンド内での指導はユニホーム着用の監督・コーチに限る。
監督・コーチもスパイクもしくはポイントのあるアップシューズを着用する事。
(大会本部がランニングシューズ等と見なした場合はベンチ入り不可。)
9. 打者・走者・ベースコーチは JSBB 公認ヘルメットを必ず着用する事。
捕手は JSBB 公認捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、マスク、ファウルカップを必ず着用する事。
10. ユニホーム・グラウンドコート・ストッキングはチームで統一する。
なお パンツはストッキングが見えるものを着用する事。
11. 試合中の判定については審判員に従うこと。抗議権は監督及び当該プレーヤーに限るものとする。但し、抗議ができるのはルールの適用に誤りがあると認められるときで、投球判定、打球判定、送球判定については抗議できない。
12. 指導者は試合開始時及び終了時は、ベンチ前に整列し脱帽のうえ、相手側に向かい挨拶を行う事。
13. 大会期間中、不測の事故が発生しても、主催者は一切の責任を持たない。
14. 試合球は、マルエスJ号を使用し、主催者が用意する。
15. 雨天などによる中止決定は第1試合は午前7時、それ以降は各試合開始2時間前に決定します。当日試合予定チームは午前7時以降に、ブロック担当者に問い合わせ下さい。(1チーム 1名に限定して下さい)
16. 試合日程及び及び時間調整は原則として認めない。尚、学校行事については試合の10日前迄に申し出ること。
17. 4年生以下の投手は60球制限を設ける。また、DH制は採用しない。

投手の投球制限に関する大会規定

投手の投球制限については、肘・肩の傷害防止を考慮し、1日70球の投球制限を設ける。

特別延長戦についても適用する。試合中70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。投球数管理は大会本部にて行い、これに関する抗議は受け付けない。

競技上の周知徹底事項

趣旨

学童野球の趣旨を理解し、正しく規則を守り、フェアでスピーディな試合を展開し爽やかな気持ちが残るゲームを目標に、次の事項の周知徹底をお願いいたします。

- (1) 攻守交代時は、先頭打者及び次打者とベースコーチはミーティングに参加せず、速やかに所定の位置につくこと。攻守交代は、駆け足でスピーディに行うこと。また、監督が選手交代及びマウンドへの行き返りは、小走りでスピーディに行うこと。(投手に限り内野フェア地域は歩いても差し支えない)
- (2) 指導者は、選手に対しいかなる場合でも、暴力、暴言、体罰を禁止する。
- (3) 指導者としてふさわしくない行為(暴力、暴言)で注意され、繰り返し行った場合は大会責任者及び審判員が退場処分を命じることがあります。
- (4) 選手による故意の空タッチ、意図的な強いタッチはしないこと。
- (5) 審判員や相手を問わず暴言や汚いヤジをとばさないこと。(応援席、ベンチ指導者)
- (6) 相手チームに対して威圧を与える行為や威嚇するような発声を禁止する。
- (7) 選手は常にフェアプレーの態度でプレーすること。
- (8) 大会グラウンド並びに会場敷地内では、トスバッティング、素振り等のバットを使用する練習は、禁止とします。
ノックについては安全を確認した上で認めます。補助員のヘルメット着用、指導者のノックに限る。
- (9) 審判等に対するクレームなど含め大会運営に悪影響を与える言動・行動・叱責等については大会出場取消などの厳しい処置を取りますのでご承知おき下さい。

《グラウンド案内 =住所= 》

《熊取町》

記号	会場名	住所
A	町民グラウンド	熊取町久保5-3080 (ひまわりドーム隣)
B	中央公園グラウンド	熊取町野田4-274-151 (熊取図書館隣)

《貝塚市》

記号	会場名	住所
C	野外広場グラウンド	貝塚市橋本1385 (第四中学校隣)
D	ふれあい運動広場グラウンド	貝塚市二色南町4-1
E	二色グラウンド	貝塚市二色南町 (産業文化会館斜め前)
F	第一中学校グラウンド	貝塚市加神1-5-1
G	旧第五中学校グラウンド	貝塚市二色2-3-1
H	二色学園グラウンド	貝塚市二色1-3-1
I	青少年運動広場グラウンド	貝塚市東山1-4-1

《A町民グラウンド、E二色グラウンド、I青少年運動広場グラウンド以外は、
駐車場に制限があり1チーム5台以内でお願いします。(駐車場は全て無料)》

試合開始予定時間

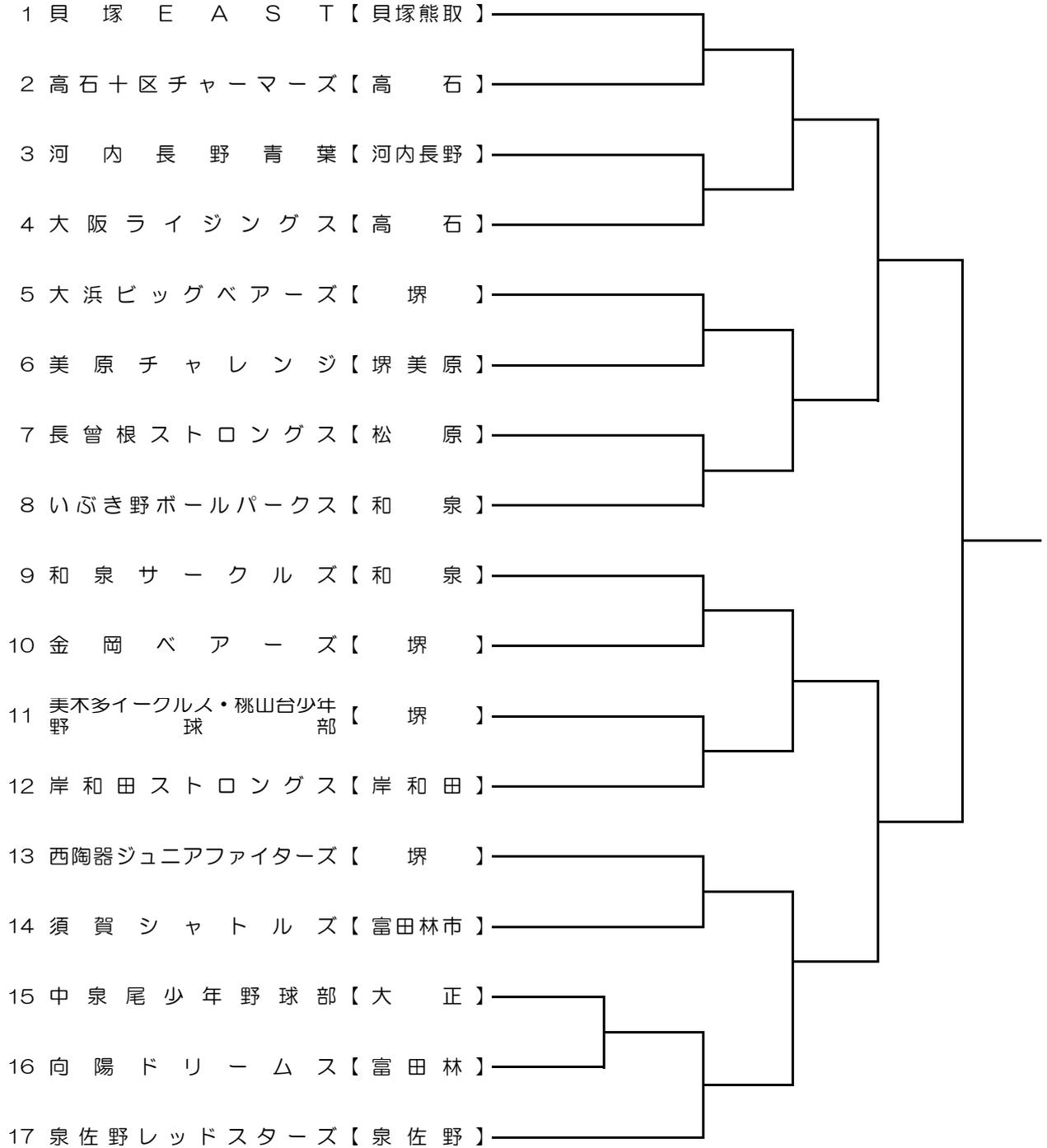
第一試合	9時00分
第二試合	10時30分
第三試合	12時00分
第四試合	13時30分
第五試合	15時00分

《運営上変更する場合がありますのでご注意ください》

※近隣住民のご迷惑にならない様、特に朝の試合前ウォーミングアップ時の
声出しには大会本部の指示に従ってください。

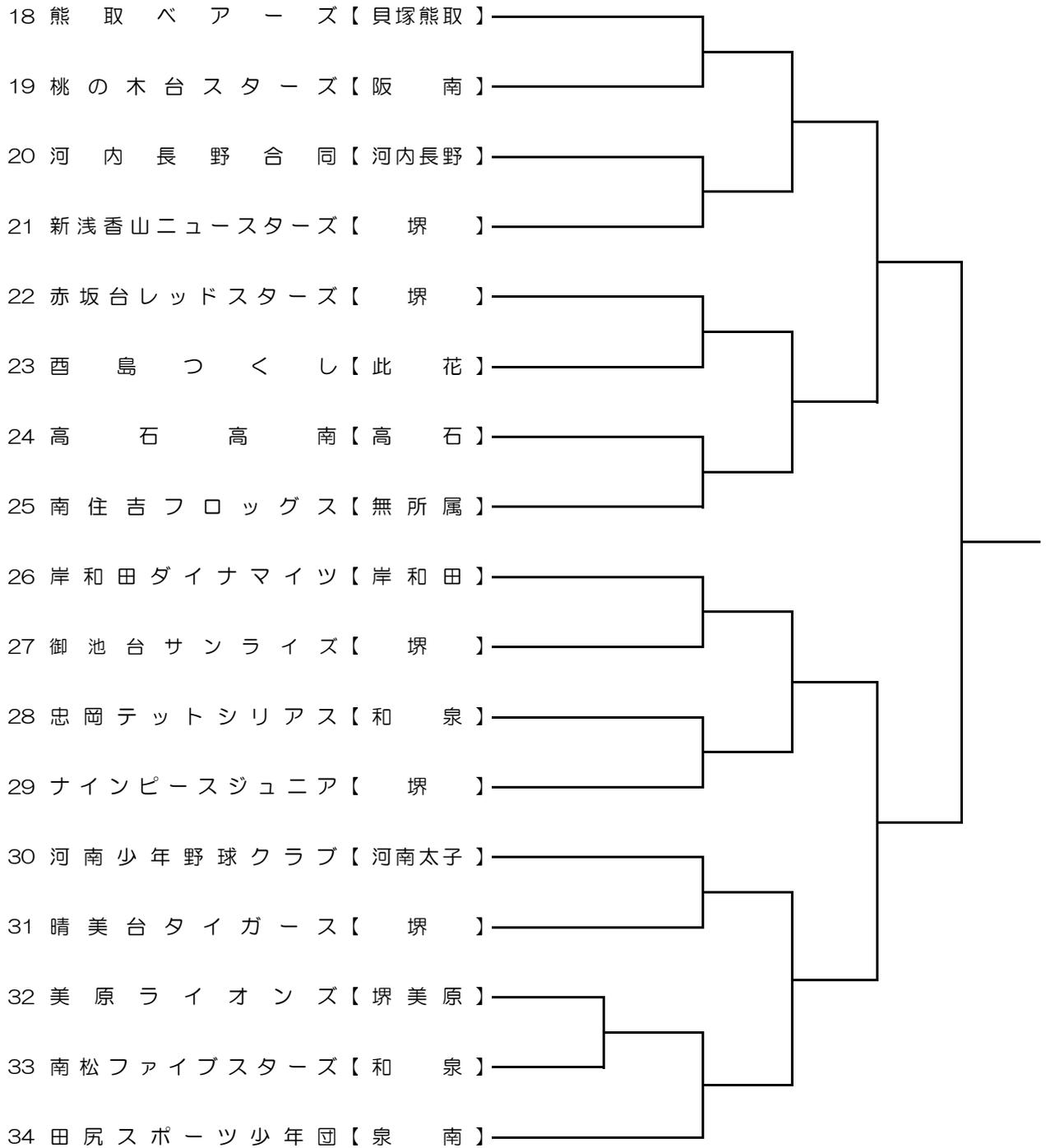
第28回マルエス旗・第23回熊取町長杯争奪少年軟式野球大会

【 A ブロック 】担 当 上 野 明 良 090-2282-8008



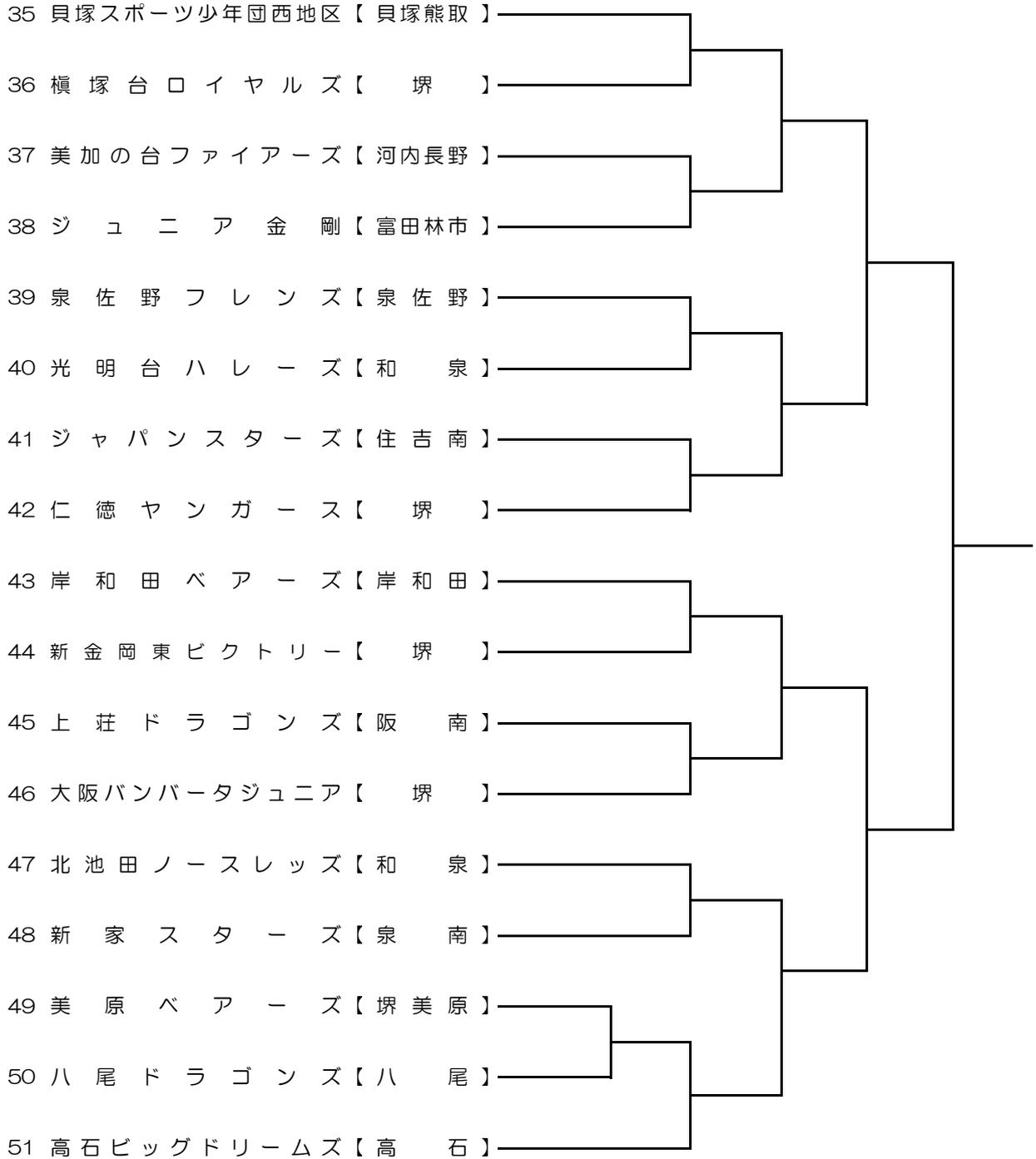
第28回マルエス旗・第23回熊取町長杯争奪少年軟式野球大会

【 B ブロック 】担 当 上 野 明 良 090-2282-8008



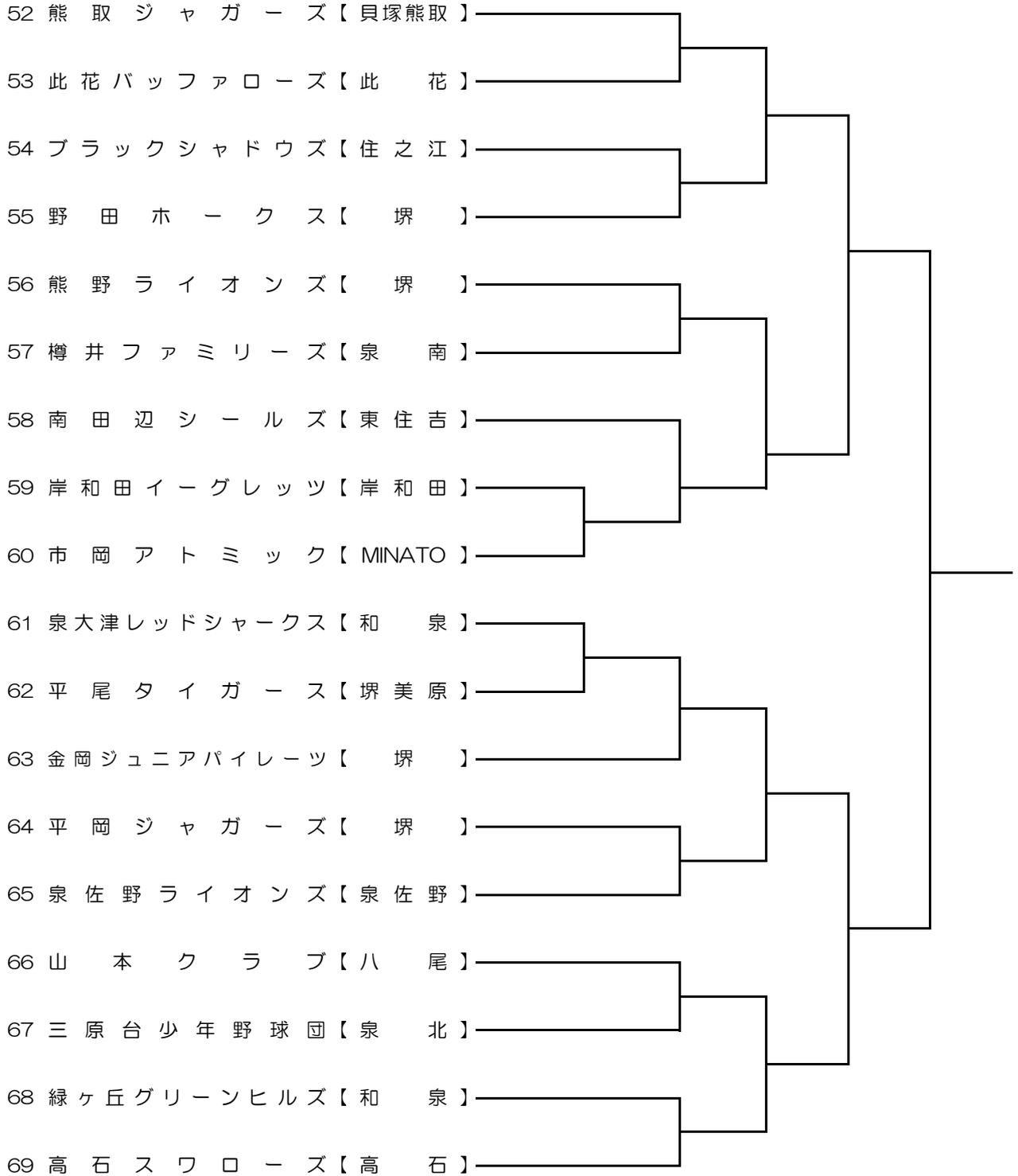
第28回マルエス旗・第23回熊取町長杯争奪少年軟式野球大会

【 C ブロック 】担 当 上 野 明 良 090-2282-8008



第28回マルエス旗・第23回熊取町長杯争奪少年軟式野球大会

【 D ブロック 】担 当 上野 明良 090-2282-8008



祝 第28回 マルエス旗・
第23回 熊取町長杯争奪少年軟式野球大会

週刊だから無理なく読める

世界新聞協会賞を受賞!!

楽しく読めて、学習にも役立つ

小学生から読める新聞 木曜発行

読売KODOMO新聞
よみうりこどもしんぶん

社会のことをもっと知ろう!

10代を応援する新聞 金曜発行

読売中高生新聞



読売センター

YC(読売センター)は、読売新聞販売店の全国統一名称です。

熊取・東佐野 〒590-0403 熊取町大久保中1丁目1-2
TEL (072) 452-0308
FAX (072) 452-7547



ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。

「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社